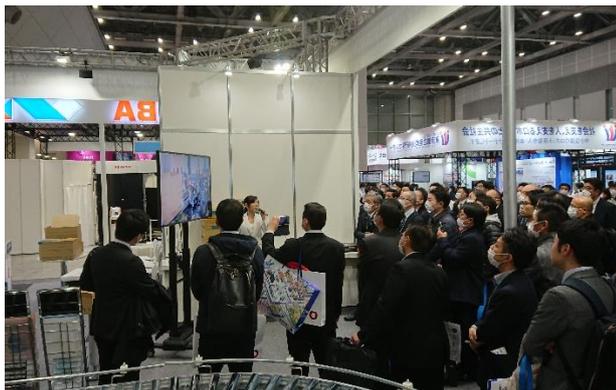


## 国際物流総合展にe3neoシステムを出展



2月19日から3日間、東京ビッグサイトで開催された2020国際物流総合展- INNOVATION EXPO - (主催：日本産業機械工業会 ほか) (以下、国際物流展) に、当社・株式会社トーモク・ランパック社の3社でe3neoシステム(高さ可変梱包システム)を共同出展しました。

国際物流展は、経済活動のインフラとして不可欠な物流・ロジスティクスの先進情報が収集できる専門展示会として開催され、「労働力不足」をテーマに国内外の最新物流機器・システム・サービス等のソフトとハードが一堂に結集し、交易振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的としています。会場は、展示規模225社・団体の出展があり、3日間で延べ21,000名を超える方々にご来場いただき、新型コロナウイルスの感染警戒の中ではありませんでしたが大盛況のイベントとなりました。

当ブースでは、e3neoシステムのうち、国内初上陸となる段ボール箱の封緘装置「EVO Cut'it」(高さ可変自動梱包システム)のプロモーションビデオを放映すると共に、当社のショールームに設置しました本機をこのブースに持ち込み、実際に稼働させて、①「箱の高さを内容物の高さ

まで自動的に調整することにより効率的な物流が可能に」②「高速での梱包により、自動化に寄与すること」を理解していただくことができました。また、当社で販売する関連商品や安定操業のためのメンテナンス体制を紹介したパネル展示も行いました。

会場には、日本製紙の馬城会長、野沢社長のほかグループ会社の多くの方もご来場になり、このシステム販売に大きなお力添えをいただきました。

なお、昨年10月よりトーモク社と共にe3neo推進チームを立上げ、すでに複数のお客様より受注をいただきました。また今回の展示会後にも多くの問い合わせをいただいております。ユニテックの事業の柱の一つに育てあげるためにも、是非ご支援をお願いします。

3月には日本製紙富士工場内鈴川に、自動梱包システムのショールームが完成し、今回展示した「EVO Cut'it」のほか、段ボール箱を組立てる自動トレイ製函機「Form'it」、自動運転のコンベアシステムを含めた設備が立ち上がり、お客様のご来場をお待ちしております。